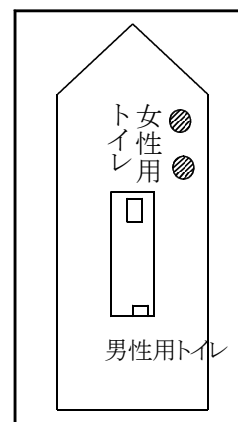


2020年7月22日(水) マイカ 美浜釣舟センター 宝生丸 美浜町早瀬  
大潮:旧5月2日 満潮 14:43(47cm) 干潮 22:31(14cm) 満潮 翌日05:45(36cm) 敦賀  
自分 マイカ 19杯 ツレ:マイカ 23杯 スルメイカ2杯

17時30分 釣り座のくじ  
18時00分 出船  
22時31分 干潮(14cm:敦賀)  
0時15分 納竿



【マイカ仕掛け】 自作仕掛け おもり 60~100号持参 使用60号  
胴付き スツテ2.5号 幹糸フロロ6号 枝間1.2m ハリス5cm フロロ3号  
自分用:上から 赤、赤緑、エギ、赤白、ケンサキSP赤緑  
ツレ用:上から ケンサキSP赤ピンク、赤緑、魚、赤白、ケンサキSP赤緑  
※エギ2号 ゴールドアジ ラトル入り、魚形スツテ 布巻  
エギ、魚形スツテ ともに一杯も掛からなかった。次回から使わない。

イカメタル用 竿 YOIKA BB 64M210 リール 鯛釣りに使っていたものを使用  
オモリグ用 キス竿 リール キス釣りに使っていたスピニングリール  
※いずれも道糸PE1号、リーダーはフロロ3号を1ヒロ付けた。

【料金】 船代 ¥12,500 (氷付き) ポイントがたまり、一人は¥6,500

#### 【様子】

- 女性用トイレが近いところということで、右舷ミヨシに並んだ。
- 風はない。曇り後雨。波はほとんどない。
- 「胴付きの人は、おもり60号。イカメタルの人は20号。7時30分くらいから当たり出します。」とアナウンスがあった。
- マイカは足が弱く、マイカが強く引くと、マイカ自身が引く力で足が切れてしまう。すべてのリールのドラッグをゆるゆるにしておくことにした。
- 7時30分まで50分くらい時間が合ったので、胴付き仕掛けで底と底から5mまでで誘いを掛けた。当たりがない。今日は、イカメタルとオモリグを試すことにしていたので、この間、その準備をした。
- 8時ごろから当たり出した。水深は30m。前回と同じだ。ツレに胴付き仕掛けを任せ、自分はイカメタルとオモリグを行った。ツレは胴付き仕掛けの竿を2本扱うことになった。
- イカメタルはリールに水深が出るので30mで止めた。30mで「シェイクして止める」、「シェイクして、竿を大きく振り上げてきて止める。フォールして止める。」を試した。当たりがなければ置き竿にして、もう一方の竿(オモリグ)で誘いを掛けた。置き竿に当たってくることもあれば、置き竿を手を持ったときに当たってくることもあった。
- オモリグは投げて30mのところまでバールを起こして待った。PEラインの色(マーク)で30mを測った。投げて30mのところまで止めると、ラインがピンと張ったまま、足下の方へ戻ってくる。足下に来てしばらくすると、当たりがある。当たりがないときは竿を大きくあおると当たりが出るといった感じであった。しばらく待って当たりがなければ、置き竿にして、イカメタルの竿で釣った。
- 8杯釣ったところで当たりが遠のいた。棚が変わったようだ。胴付き仕掛けの釣果から、水深35mから20mであったので、この間で誘いを掛けた。



- 13杯釣ったところで、さっぱり当たりがない。
- 船長さんは3本の竿を操っている。竿先だけのような竿を船に固定し、イカメタル仕掛けを、水深20m、25mのところまで止めている。掛かれば手で糸をたぐって回収している。3本目はベイトリールがついてイカメタル仕掛けの竿、これも置き竿にしている。3本目の竿で20m・25m以外の棚を探っているようだ。どの竿も当たりがあればすぐに掛けていた。
- 当たりがないので、船長さんのように置き竿にして釣った。
- 今日の竿頭は45杯、胴付きとイカメタルで釣っていた。もっと粘り強く誘い続けるべきだったかもしれない。
- 船長さんと話をした。船長さんは、「胴付き仕掛けも使えるなら、‘低速で底から上まで自動巻きにして釣り、その傍ら、イカメタルで釣る。’」と言っていた。「イカメタルは棚を決めて釣る。釣れなくなったら、棚から少しずらして釣る。」と言っていた。
- 疲れてきた。座りながらであるが、気持ちを入れ替えて、誘いを入れることにした。ぽつりぽつりと当たるようになった。フォール中のキャッチも1度あった。結局、19杯で納竿となった。
- ツレは、置き竿にしなながら水深40mから20mまでを低速自動巻き上げで釣っている。ときどき竿を大きく2回振り上げて誘っている。誘ったときに掛かるときもあった。フォール中のキャッチは1度もなかった。
- 船長が「こちらの胴付き仕掛けの方(自分が使うはずだった竿の方)が良く釣れる」と言った。ツレも同様のことを言っていた。仕掛けの違いであろうか。
- 一番上と一番下がよく掛かった。エギと魚形は1杯も掛からなかったとのこと。
  - 自分用:上から 赤、赤緑、エギ、赤白、ケンサキSP赤緑
  - ツレ用:上から ケンサキSP赤ピンク、赤緑、魚形、赤白、ケンサキSP赤緑
 ケンサキSP赤緑と浮きスッテ「赤」がよく釣れたようだ。確かに、「赤」に釣れているのをよく見かけた。使用したエギと魚形は次回から使わない。エギはアオリーQ2号がよいと聞いたので、これを使いたい。
- 胴付き仕掛けの違いは巻きスピードが若干違う。自分用はダイワ製、ツレ用はシマノ製である。自分用は巻き上げスピードが1～2では巻き上がらない、または、巻き上がってきても途中で止まってしまうことがある。3～4で止まることなく巻き上がってくる。自分用のリールは3～4で巻き上げた。ツレ用のリールは巻きスピード1で止まることなく上がってくる。こちらはスピード1で巻き上げた。スピードの差にそれほど違いがあるとは思えない。釣果の違いは、たまたまだったのだろうか。

【購入アイテム】

エメラルダス2.5号  
赤緑ラトル入り  
‘みかん’



イーゼースリム80mm  
夜光赤白  
夜光赤緑



おもり20号  
三角天秤



四ツ目 20号  
赤緑  
赤白

## 【ヒットルアー】

- ・オモリグ おもり20号 ハリス1ヒロ イージースリム 赤白
  - ※ ハリス1ヒロは長すぎた。扱いにくい。もっと短くてもよい。1.2mが適当かな。
  - ※ エメラルダスを入れるつもりだったが、間違えてイージースリムを付けてしまった。それでも、よく掛かった。
- ・イカメタル
  - 鉛スッテ 四ツ目 赤白
  - ドロッパー エメラルダス ‘みかん’、赤緑ラトル入り
    - ※ ドロッパーには赤緑ラトル入りを、鉛スッテには四ツ目 赤白を付けた。掛かるのは四ツ目の赤白ばかり。今日は赤白がいいのかも。ドロッパーの赤緑ラトル入りは掛からないので、‘みかん’に変えた。‘みかん’に掛かった。当たりがあって、回収したら、‘みかん’がなくなっていた。よく釣れていたのに残念だ。赤緑ラトル入りを付けた。これにも掛かるようになった。

## 【次回】

- 次回は、胴付き仕掛けとイカメタルを1本ずつですることにした。
- イカメタル用の竿とリールは家にあるものを使うことにした。
  - イカメタルの竿は、YOIKA BB (2本)を使う。
  - リールは、これまでウタセ真鯛釣りで使っていたリールを使う。
  - ラインはPEライン1号が巻いてある。今回の釣行から0.6号に替えることはない。
- 鉛スッテ・ドロッパーは、四ツ目20号とイージースリムとする。赤緑・赤白の組合わせで釣る。

## 【銅付き仕掛け 次回】 スッテはすべて2.5号

- 上から 赤、[シリコンスッテ]、ケンサキSP赤緑、エギ、ケンサキSP赤白
  - エギ(アオリーQ2号 オレンジ、またはピンク)
- 浮きスッテはケンサキSPを使うか。
- [ ] は要検討。シリコンスッテを入れるか。よく釣れるシリコンスッテの色は？